

コープで  
広がる、  
つながる

# 正しく理解して、安心な暮らしができる地域づくり 認知症サポーター養成講座

9月13日コープ栃木店組合員室にて



受講後に配布されたオレンジカード



スライドを使ってわかりやすく説明



ふれあいコープの職員が講師に



皆さん真剣に講義に耳を傾けます



寸劇「財布が盗まれました！」



寸劇「ごはん食べてない！」

今年3月、小山ブロックの組合員理事が栃木市を訪問し、市の職員と「高齢者の暮らしに対するお役立ち」をテーマに意見交換をしました。そのことがきっかけとなり、また、ブロック委員会では、以前から「認知症について理解を深める学習をしたい」と考えていたこともあり、ふれあいコープに協力を依頼し、組合員向けの学習会を共催することになりました。

当日は24名が参加し、「認知症の理解と対応」について学びました。皆さん真剣に講義に耳を傾け、コープの職員らが演じた寸劇に笑いも起り、和やかな雰囲気を受講されていました。

受講者より「日々の介護の中で、分かっているつもりでも優しくできない自分があります。学んだことを活かそうと思います」「認知症の方と、そのご家族が必要としている支援を、できることがあればしていきたい」「認知症のメカニズムを理解することが、介護側の心の余裕にもつながるのかなと思いました。認知症の方の世界を想像しながら対応したいです」といった感想が寄せられました。

今回の企画をとおして「認知症」については、どの世代にとっても大きな関心事であるとわかりました。これからも組合員の暮らしにお役立ちできること、想いを共感し合う場を提供できるよう活動を続けていきます。